RIODICAL

#78

#78

LIBRARY

JUL 6 1961

FISH & WILDLIFE SERVICE

鮪漁業 第七十八号 昭和三十六年五月十日 （発行毎月一回十日発行）
昭和三十一年二月二十三日 第三種郵便物認可

鮪漁業

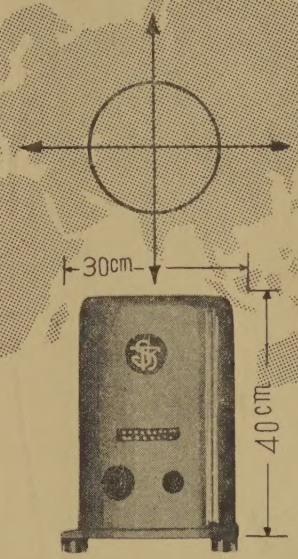
TUNA FISHING

鮪漁業研究会

No.78, 1961

新発売！

世界最小の
小型漁船用
ジャイロコンパス



E S 型

ジャイロコンパス

東京計器では、このたび皆様の御要望に応え、一〇〇トン位の漁船にも楽につけられる、超小型簡易ジャイロコンパスを完成致しました。今後とも倍旧の御愛顧をお願いします。

超小型
各ユニットが小型にできていますので、狭い操舵室でも簡単に装備できます。

操作簡単
スイッチ一つで操作ができ余分な労力をへらし、漁獲に専念できます。

株式会社 東京計器製造所

東京都大田区東蒲田４丁目31番地　電話 (731) 2211 (代)

1961 目次 No. 78

鮪漁船紹介　☆第26全功丸　☆第11笹の丸

明かるい人事ニュース　寺本正一氏　菅野　進氏

1960年4月におけるマグロ漁場の漁況と海況の概要
（南水研，神水試，鮪漁研委託調査船329隻の資料による）…… 1

1. 鮪類の月別，海区別漁獲表（1960年4月操業分）…… 2

東部太平洋第3漁場…… 2　東部太平洋第4漁場…… 2
中部太平洋第1漁場…… 2　中部太平洋第2漁場…… 2
中部太平洋第3漁場…… 3　西部太平洋第1漁場…… 3
西部太平洋第2漁場…… 4　西部太平洋第3漁場…… 4
西部太平洋第4漁場…… 5　スンダ列島漁場…… 5
東部印度洋漁場…… 5　北部印度洋漁場…… 5
中部印度洋漁場…… 6　南部印度洋漁場…… 7

2. 鮪類の月別，漁場別体長組成表（1960年4月操業分）…… 8

マグロ漁況概況予報（1961年4月）……神奈川県水産試験場……10

正式発足する全国かつお・まぐろ研究協議会について ……13

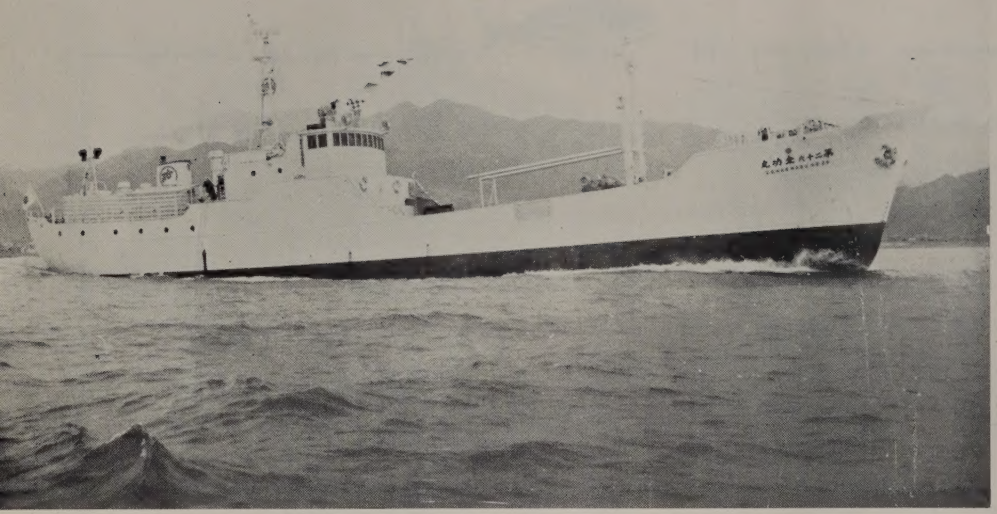
鮪漁業関連会社誌上訪問 ③
—ディーゼル機関工場—
株式会社 赤阪鉄工所 ……15

＝新製品紹介＝
超小型：東京計器ＥＳ型ジャイロコンパスについて……19

会員消息……22　お願い其の他……25

広くさがし，鋭くつきとめる！
サンケンの2周波魚探機

ニュー・テレビグラフ
SK 株式会社 産研
本社・工場　沼津市千本郷林1907（電）1626・4543・5470
営業所　東京都千代田区神田鍛冶町2—2（電）東京(251)0381・5444



第 26 全 功 丸

船　主	奥津水産株式会社（三浦市）
造船所	株式会社　金指造船所
主要寸法	長46.55m×幅8.60m×深4.12m
総屯数	441.98屯
魚艙容積	587.7m³
燃料油艙	255.0m³
速　力	最大 12.50節
主　機	デーゼル900HP　（赤阪鉄工）　1基
補　機	デーゼル200HP, 150HP（　〃　）各1基
無　線	250W，75W（三崎無線）　各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式3″×7″×5½″60HP 3基
レーダー（神戸工業），音測（海上電機），G.C.B.（東計），操舵機（川重電動油圧式2HP）其の他各1式	
竣　工	昭和36年5月13日

各種鋼製漁

株式会社　金

本社工場　清水市三保
塚間工場　清水市三保
東京事務所　東京都港区芝田
三崎出張所　三浦市三崎町

株式会社　三　保

取締役社長　植
専務取締役　平
常務取締役　道
本社工場　静岡県
電話清
東京事務所　東京都中
電話東

漁船の冷凍装置に定評ある

日新興業株式会社

本　社　大阪市北区中之島3の3（朝日ビル）TEL. 北浜（23）9736（代表）
東京支店　東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）TEL. 銀座（571）7607（代表）
室戸出張所　高知県室戸市室津　TEL. 室戸　352
清水出張所　清水市三保本村四区　TEL. 清水（2）3507
三崎出張所　神奈川県三浦市三崎町西野34　TEL. 三浦　2751
石巻出張所　宮城県石巻市門脇町104　TEL. 石巻　505

施工船名

第26全功丸
第11笹の丸
第1七洋丸
第28海幸丸
第18万寿海丸
永芳丸
第8加喜丸
（其の他約1,000隻）

第 11 笹 の 丸

船の建造並に修理

指 造 船 所

4010—19　電話　清水 (2) 4111～5
弁天492　電話　清水 (2) 5151～2
村町3ノ4　電話　芝（591）1306～8
西 野 34　電話（三浦）2851

造 船 所

田　朋　八
岡　昌　一
家　長　松

水市三保3797番地
水 (2) 2201（代表）—5
区八重洲3ノ7（東京建物ビル）
(281) 6341（代表）—3

船　主　笹島孫次郎（那珂湊市）
造船所　株式会社　三保造船所

主要寸法	長43.00m×幅7.80m×深3.75m
総屯数	339.47屯
魚艙容積	397.51m³
燃料油艙	203.51m³
速力	最大 12.77節
主機	デーゼル800HP過給式（赤阪鉄工） 1基
補機	デーゼル125HP （ 〃 ） 2基
無線	250W，75W（穂高通信） 各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式7″×5½″ 37KW 3基

レーダー（東計），方探（大洋無線），音測（産研），
操舵機（川重ヘルショウ型1.5HP）其の他各1式
竣工　昭和35年7月5日

三菱 UE ディーゼル機関

各種漁船用

二サイクル　1,500馬力～5,700馬力　　四サイクル　75馬力～2,400馬力

株式会社 赤阪鐵工所

本　社　東京都中央区銀座一ノ三（千成屋ビル）電話京橋（561）4902～3
工　場　静岡県焼津市中港町五九四　電話（焼津）2121～5
出張所　札幌，大阪，福岡

クレモナ

鮪延繩・命綱 （検査ロープ資格あり）

○命綱ならクレモナロープ！

船艙の“むれ“におかされずショックに強くいつでも安心してご使用できます

○鮪延繩にはクレモナ10番手糸製品を！

性能が従来の20番手糸製品同様ですが強力の点で優れています

（説明書パンフレット進呈）

倉敷レイヨン株式会社

本社・大阪市北区梅田2番地
東京・東京都中央区日本橋通り3の1

ハンシンディーゼル
船舶用・発電用・動力用65～4500HP

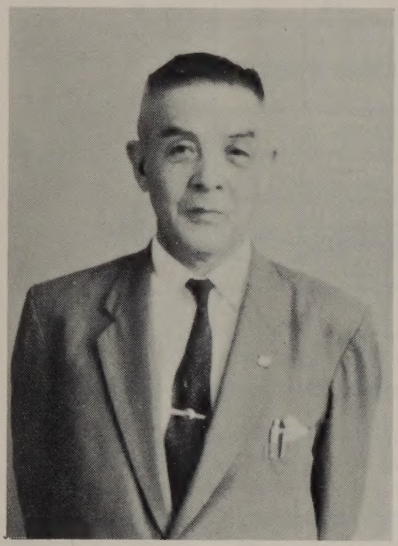
阪神三菱横浜可変ピッチプロペラ
製造・販売

阪神内燃機工業株式会社

取締役社長　小曽根真造

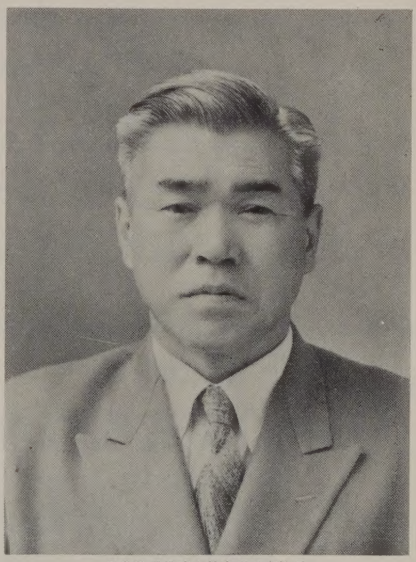
本社工場　神戸市長田区一番町3丁目　電話(5)1531—6
東京支社　東京都千代田区丸ノ内丸ビル電話(201)3640—1
下関出張所　下関市豊前田町第一ビル　電話下関768

明かるい人事ニュース



事代漁業株式会社々長
寺本正一氏

▷ 寺本正一氏は5月3日憲法記念日に産業功労者として神奈川県知事より表彰を受けられた．氏は神奈川県鰹鮪漁業協同組合長，神奈川県漁業協同組合連合会副会長，事代漁業株式会社社長等12に余る組合会社の役員を兼ね，本研究会の理事としても御活躍を願っている．氏は和歌山生れで青年期より鮪漁業に精魂をかたむけたが，その天才的頭脳と頑健な体で超人的な活躍をなし，よく終戦後の難局に処して，今日の鮪漁業の隆盛に貢献した人であり，名実共に鮪漁業界の大御所である．今秋の藍綬褒章授賞者の候補を鮪漁業界より選ぶとすれば，さしあたりこの人以外にはなかろう．明治23年生．



日魯漁業株式会社久里浜支社長
本会々長 菅野進氏

▷ 本会々長菅野進氏は去る4月1日日魯漁業株式会社久里浜支社長に昇進された．氏は水産講習所卒業以来日魯漁業に勤務し，戦後日魯漁業が壊滅状態になるや戦時中の南方鮪漁業の経験を生かし，従来の鮪漁業を科学的に分析，種々の困難を乗り越え，日魯漁業の今日あるを築いた功労者の一人である．氏は又学究の人でもあり，近く京大よりその研究に対して農学博士の称号を授けられるやにきく．本会々長として又神奈川県鰹鮪漁業者協会長として，科学的部面より業界に寄与した功績は極めて大である．京都府出身．

漁船用中短波無線送受信装置
漁船用中短波無線電話装置
作製工事販売保守一式

合資会社 三崎無線電機工業所

本社・営業所　三浦市三崎町仲崎187　電話（三浦）3431番
電化部　三浦市三崎町仲崎167　電話（三浦）2543番
電工部　三浦市三崎町原3163　電話（三浦）2864番
工場　三浦市三崎町原660　電話（三浦）2960番

装備船名
第21順光丸
第23事代丸
第26全功丸
第18全功丸
第12福生丸
第32大黒丸
第3成洋丸
第8豊州丸
其の他

営　業　品　目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造

装　備・補修一式

七洋電機株式会社

本　　社　東京都目黒区中目黒4丁目1315番地
電話荏原（712）2525・2526・3314番

神戸出張所　神戸市生田区栄町通3の37（栄町ビル）
電　話　神　戸㈱　0　7　7　8　番

＝設備完成＝

鋼木船の造船修理一般

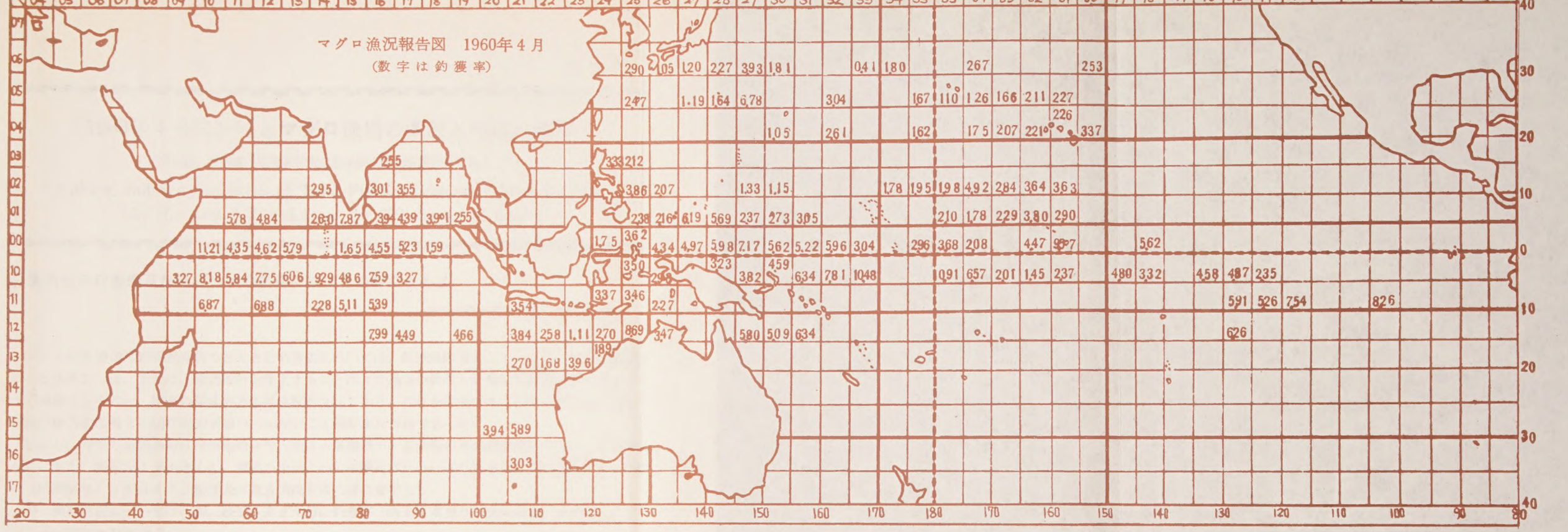
500噸　船　台　4　基
機重起10噸・7.5噸・5噸各1基

三崎船舶工業株式会社

本　社　東京都中央区西八丁堀2ノ10　　電話築地（551）9611～5
工　場　神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎2446　電話（三浦）（代）3141

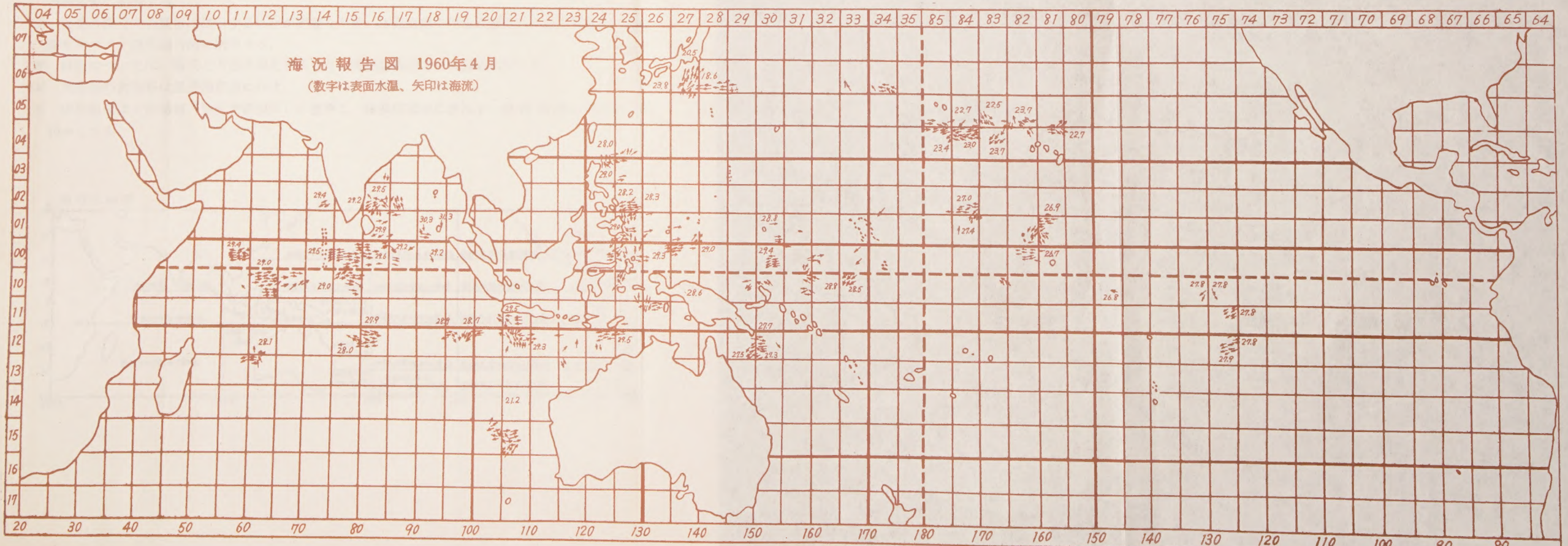
マグロ漁況報告図　1960年4月

（数字は釣獲率）



海況報告図　1960年4月

（数字は表面水温、矢印は海流）



1960年4月におけるマグロ漁場の漁況と海況の概要

（南水研、神水試、鮪漁業研究会委託調査船329隻の資料による）

Fishing and Sea Condition of Tuna Fishing Ground in Mar. in 1960.
(By the data collected from the 329 appointed boats)

○漁業報告の整理及び発表方法の変更についてのおことわり

——神奈川県水産試験場，鮪漁業研究会 ——

マグロ類漁場別月別漁況報告のとりまとめ方法については，従来随時改良していたが，著しく変更することはなかった．それは，様式方法を変更することにより過去の結果とその後の結果を結び合わすことが困難となること，従来の様式や方法に比較的なれており，これを変更することにより混乱を招くこと及び新方法に対する能理能力が追いつかないこと等が主な理由であった．

しかし，従来の取纏め海区は漁場の分布と殆んど無関係で，各漁場の真の漁況を究めることが困難であり，また，海区をより小さくし，細部の漁況について報告されたいとの業者の再三の要望もあり1960年（昭和35年）1月分より，整理及び発表方法を次の様に変更した．

(1) 漁獲状況については，緯，経度5度ます毎に釣獲率（鈎100本当りの漁獲尾数）を算出し，その小海区毎に発表する．

(2) 経費の都合で魚種毎に図示することが困難なため，体長組成の対象魚種にバショウを加えた総釣獲率をマグロ漁況報告図に図示する．

(3) 海況については，海流と表面水温を記入して，海況報告図として別図に示した．

(4) 魚種毎の釣獲率は漁獲調査表に示す．

(5) 体長組成は大漁場毎（漁況予報項照）に整理し．体長組成表に表示す．階級間隔は従来と同様10cmとする．

漁場区画図

1. 鮪類の月別，海区別漁獲表（1960年4月操業分）

漁獲は，釣獲率（釣100本当りの漁獲尾数）で示す。海区番号は，漁場図参照．漁場名は速報参照．

漁場又は海区	操業船数	操業回数	まぐろ きはだ	まぐろ めばち	まぐろ びんなが	まぐろ くろまぐろ	まぐろ いんどまぐろ	まぐろ ごしゅう	かじき くろかわ	かじき しろわじ	かじき まかじき	かじき めかじき	かじき かばさわ	かじき しょう	計
東部太平洋第3漁場															
10—79	2	10	2.78	1.75					0.21		0.02	0.04			4.80
00—78	1	5	1.10	4.23					0.21	0.02	0.02	0.04			5.62
10—78	1	1	0.83	2.24					0.24						3.32
10—76	3	13	1.58	2.52	0.19				0.18	0.01	0.04	0.05	0.01		4.58
10—75	3	20	1.35	3.40	0.03				0.02	0.00	0.03	0.02	0.01		4.87
11—75	3	22	1.05	3.06	1.32				0.42	0.03	0.02	0.01	0.00		5.91
11—74	2	22	0.79	3.18	0.68				0.53	0.01	0.05	0.01	0.00		5.26
10—74	1	5	1.87	0.15	0.15				0.11	0.03	0.01	0.02			2.35
11—73	1	9	0.50	4.08	2.34				0.46	0.04	0.10	0.01			7.54
11—70	1	6	1.31	6.40	0.02				0.23	0.01	0.29				8.26
東部太平洋第4漁場															
12—75	1	15	0.25	0.93	4.61				0.42	0.01	0.03	0.01	0.00		6.26
中部太平洋第1漁場															
06—34	3	25	0.00	1.03	0.56				0.08		0.05	0.03			1.80
05—35	3	7	0.11	1.12	0.05				0.10		0.36	0.03			1.67
04—35	1	11			0.61				0.08		0.69	0.22			1.62
05—85	26	142	0.08	0.48	0.01				0.07	0.00	0.35	0.10			1.10
06—84	1	12		1.07	0.95		0.46				0.02	0.18			2.67
05—84	13	32	0.15	0.68	0.00				0.03	0.01	0.28	0.10			1.26
04—84	5	36	0.03	1.01					0.07	0.00	0.51	0.12			1.75
05—83	20	91	0.31	1.00	0.00				0.04		0.22	0.09			1.66
04—83	14	50	0.17	1.20	0.00				0.06	0.00	0.57	0.08	0.00		2.07
04—82	16	99	0.38	1.44	0.00				0.06	0.03	0.24	0.06			2.21
05—82	23	166	0.42	1.33	0.02				0.04	0.00	0.23	0.09			2.11
05—81	6	29	0.41	1.48					0.09	0.00	0.19	0.10			2.27
04—81	7	34	0.49	1.34					0.08		0.24	0.10			2.26
06—80	1	24	0.06	2.12					0.09		0.26				2.53
04—80	2	5	0.47	2.49					0.12		0.18	0.12			3.37
中部太平洋第2漁場															
02—34	2	10	0.34	1.03	0.04				0.33		0.02		0.03		1.78

漁場又は海区	操業船数	操業回数	まぐろ きはだ	まぐろ めばち	まぐろ びんなが	まぐろ くろまぐろ	まぐろ いんどまぐろ	かじき ごうしゅうかじき	かじき くろかわじき	かじき しろかわじき	かじき かめじきじ	かじき かばきょう	かじき し	計
02—35	1	11	0.23	1.15				0.37	0.00	0.01	0.02	0.15		1.95
02—85	6	30	0.21	1.47				0.26	0.00	0.01	0.01	0.01		1.98
01—85	2	10	0.22	1.23				0.63	0.01	0.03				2.10
02—84	12	78	0.54	3.52				0.71	0.01	0.08	0.02	0.03		4.92
01—84	4	11	0.24	1.28				0.24	0.01	0.01	0.02			1.78
02—83	5	22	0.16	2.27				0.30		0.14	0.02			2.88
01—83	3	7	0.23	2.23				0.25	0.01	0.03	0.01	0.03		2.29
01—82	8	21	0.35	2.68	0.00			0.23	0.00	0.03	0.01	0.01		3.30
02—82	2	9	0.08	3.18				0.21		0.15	0.02			3.64
01—81	5	37	0.13	2.55				0.16	0.00	0.04	0.01	0.01		2.90
02—81	2	14	0.05	3.23				0.20		0.13	0.01	0.00		3.63
中部太平洋第3漁場														
00—35	1	9	1.64	0.13	1.04			0.04	0.01			0.09		2.96
00—85	2	10	2.28	0.23	0.96			0.11	0.02			0.08		3.68
10—85	1	1	0.81	0.10										0.91
00—84	2	13	1.65	0.23	0.10			0.08	0.00		0.00	0.00		2.08
10—84	1	6	5.00	0.26	1.10			0.15	0.06					6.57
10—83	2	4	1.49	0.24	0.19			0.07			0.01			2.01
00—82	5	35	3.59	0.55	0.10			0.18	0.01	0.00	0.01	0.20		4.47
10—82	1	1	1.25	0.10				0.10						1.45
00—81	1	1	9.08	0.43				0.05						9.57
10—81	1	1	0.75	1.45				0.12		0.06				2.37
西部太平洋第1漁場														
06—25	1	3	0.41	0.09	0.29			0.03		0.09				0.90
04—25	4	21	0.21	0.04	0.00	0.03		0.03	0.00	0.04	0.01	0.12		0.47
06—26	2	11	0.23	0.09	0.24	0.46				0.02	0.02			1.05
06—27	73	553	0.24	0.07	0.39	0.41		0.01	0.00	0.07		0.00		1.20
05—27	5	14	0.12	0.29	0.44	0.16		0.01	0.00	0.15	0.01			1.19
06—28	3	27	0.08	0.17	1.93	0.04		0.00		0.04	0.01			2.27
05—28	6	19	0.09	0.27	1.09	0.02		0.00		0.14	0.02			1.64
06—29	5	33	0.20	0.14	3.27	0.25		0.00		0.04	0.02			3.93
05—29	1	2		0.23	6.51						0.03			6.78

漁場	操業	操業	ま	ぐ	ろ			か	じ	き		計
又は海区	船数	回数	きはだ	めばち	びんながまぐろ	くろいんど	ごうしゅう	くろかわ	しろわか	まじわじ	かめきじ	かばきょう	しう	
06—30	1	1	0.69	0.90	0.14					0.07				1.81
04—30	2	4	0.47	0.27						0.32				1.05
05—32	2	8	0.04	2.12				0.07		0.30	0.16			3.04
04—32	2	10	0.60	1.54				0.10		0.27	0.10			2.61
06—33	1	3		0.34						0.04	0.04			0.41
西部太平洋第2漁場														
03—24	3	24	1.09	0.20	0.08		0.11	0.10	1.43	0.01	0.03	0.28		3.33
01—25	7	43	1.78	0.44				0.10	0.02		0.02	0.02		2.38
02—25	6	57	3.18	0.53	0.00		0.02	0.04	0.00	0.01		0.09		3.86
03—25	4	17	1.40	0.23	0.04		0.01	0.17		0.07	0.07	0.17		2.12
02—26	1	1	0.10	0.11				0.01	0.01			0.03		0.27
01—26	1	3	1.69	0.38				0.08			0.02			2.16
01—27	8	42	5.44	0.56	0.01			0.09	0.01		0.01	0.07		6.19
01—28	2	3	4.34	0.91				0.17				0.26		5.69
02—29	1	8	0.87	0.36				0.07	0.02					1.33
01—29	1	3	1.51	0.44	0.03			0.10				0.29		2.37
02—30	1	2	0.55	0.38				0.21						1.15
01—30	3	17	1.55	0.91	0.02		0.00	0.17			0.00	0.08		2.73
01—31	1	3	1.18	1.22				0.12			0.02	0.50		3.05
西部太平洋第3漁場														
00—24	2	3	1.63	0.02				0.06	0.02			0.02		1.75
00—25	6	25	3.22	0.19				0.11	0.04		0.01	0.05		3.62
00—26	3	5	3.84	0.30				0.06	0.04		0.01	0.08		4.34
00—27	6	25	4.27	0.51	0.02		0.01	0.08	0.03			0.04		4.97
00—28	3	20	5.52	0.25	0.01			0.11				0.09		5.98
10—28	1	11	2.42	0.26				0.25	0.01			0.28		3.23
00—29	2	10	6.58	0.34	0.02			0.11	0.03			0.09		7.17
10—29	3	11	3.04	0.15				0.19	0.10		0.05	0.31		3.82
00—30	2	18	4.77	0.52	0.02		0.00	0.21	0.01		0.01	0.06		5.60
10—30	1	3	4.04	0.08				0.18	0.02			0.26		4.59
00—31	10	34	4.44	0.50				0.18	0.01		0.00	0.08		5.22
10—31	9	77	5.75	0.27	0.01			0.18	0.00		0.00	0.12		6.34

漁場又は海区	操業船数	操業回数	ま きはだ	ぐ めばち	ろ びんなが	ろ くろまぐろ	ろ いんどまぐろ	ろ ごうしゅう	か くろかわ	じ しろわじ	じ ろまじ	き かめきじ	き かばきょう	き しう	計
00—32	12	67	5.29	0.48	0.01	0.00			0.14	0.01				0.03	5.96
10—32	8	47	7.32	0.29	0.00	0.00			0.15	0.01	0.01		0.01	0.03	7.81
00—33	2	4	2.65	0.09					0.20					0.10	3.04
10—33	3	25	9.91	0.11	0.02				0.28	0.02	0.00			0.13	10.48
西部太平洋第4漁場															
12—29	1	1	2.17	0.15	2.98										5.80
12—30	1	10	1.96	0.07	2.91				0.08	0.04	0.00	0.02			5.09
12—31	1	4	2.44	0.12	3.64				0.07	0.04	0.00	0.03	0.00		6.34
スンダ列島漁場															
11—21	2	11	1.22	2.06					0.07	0.19	0.01	0.01			3.54
11—24	1	7	2.43	0.55					0.03	0.16	0.01	0.02	0.17		3.37
10—25	4	16	2.41	0.70					0.04	0.18	0.02	0.04	0.12		3.50
11—25	8	41	2.50	0.07					0.03	0.12	0.00	0.01	0.02		3.46
10—26	3	7	2.31	0.34					0.09	0.15	0.04	0.01			2.93
11—26	7	62	1.63	0.21			0.08		0.06	0.16	0.02	0.03	0.09		2.27
東部インド洋漁場															
15—20	3	27	0.08	0.42	1.02		2.38		0.00	0.00		0.03			3.94
12—21	3	26	0.90	1.71	0.73		0.20		0.11	0.18	0.01	0.02			3.84
13—21	1	2	1.66	0.05	0.84				0.05	0.11					2.70
15—21	13	122	0.12	0.15	0.41		5.14		0.01	0.01	0.01	0.04			5.89
16—21	2	10	0.19	0.75	0.70		1.36			0.01		0.02			3.03
13—22	1	1	0.73		0.27				0.18	0.41	0.05	0.05			1.68
12—22	1	5	0.60	0.83	0.78		0.02		0.11	0.17	0.01	0.05			2.58
12—23	10	24	0.26	0.22	0.17		0.33		0.03	0.08	0.00	0.02			1.11
13—23	5	38	0.56	0.46	2.14		0.40		0.09	0.23	0.01	0.07	0.00		3.96
12—24	9	32	1.35	0.19			0.11		0.02	0.99	0.00	0.03	0.02		2.70
13—24	1	1	0.47	0.34	0.27	0.41				0.41					1.89
12—25	6	49	7.19	0.47	0.15	0.22			0.02	0.54	0.01	0.03	0.07		8.69
12—26	1	6	2.99	0.43						0.01	0.03	0.01			3.47
北部印度洋漁場															
01—11	2	11	3.78	1.11					0.35	0.03	0.16	0.05	0.31		5.78
01—12	3	17	3.04	0.97			0.23		0.32	0.03	0.12	0.10	0.04		4.84

漁場又は海区	操業船数	操業回数	ま きはだ	ぐ めばち	ろ びんなが	ろ くろまぐろ	ろ いんどまぐろ	ろ ごうしゅう	か くろかわ	じ ろしわし	じ まかじき	じ めかじき	き かばきょう	き しび	計
02—14	1	3	1.44	0.46					0.43	0.14	0.11	0.03	0.33		2.95
01—14	3	6	0.91	0.78					0.45	0.12		0.01	0.33		2.60
01—15	6	17	4.16	1.90					0.59	0.27	0.24	0.16	0.55		7.87
01—16	7	23	1.98	1.16	0.04				0.18	0.12	0.17	0.06	0.24		3.94
02—16	6	40	1.57	0.78					0.15	0.04	0.40	0.04	0.03		3.01
03—16	1	1	1.30	0.05					0.20	0.05	0.70	0.10	0.15		2.55
01—17	8	27	2.23	1.47					0.13	0.06	0.40	0.06	0.03		4.39
02—17	4	52	1.41	1.30					0.15	0.03	0.54	0.06	0.06		3.55
01—18	2	5	1.85	1.57					0.14	0.15	0.19	0.02			3.91
01—19	1	1	1.47	0.65					0.11	0.05	0.05		0.02		2.55
中部印度洋漁場															
10—09	1	1	0.98	1.90					0.24		0.15				3.27
00—10	1	10	7.56	2.68					0.41	0.10	0.24	0.21			11.21
10—10	1	1	4.18	0.80	2.76				0.27	0.04	0.09	0.04			8.18
11—10	1	6	6.42	0.10	0.08				0.12	0.05	0.04	0.05			6.87
00—11	5	24	3.27	0.68					0.14	0.03	0.11	0.05	0.09		4.35
10—11	4	21	3.95	1.05	0.25		0.07		0.15	0.04	0.14	0.04	0.16		5.84
00—12	2	5	3.09	1.12					0.14		0.06	0.11	0.10		4.62
10—12	10	84	6.00	0.94	0.01		0.00		0.10	0.03	0.07	0.02	0.02		7.75
11—12	2	26	5.20	0.84	0.46				0.11	0.04	0.08	0.02	0.12		6.88
00—13	1	3	5.10	0.35					0.16	0.04	0.13		0.02		5.79
10—13	7	34	4.95	0.62	0.19				0.10	0.06	0.02	0.02	0.03		6.06
10—14	1	1	9.00	0.24					0.05						9.29
11—14	2	2	1.25	0.53					0.28	0.08	0.08		0.08		2.28
11—13	1	8	2.97	1.34	0.15				0.44	0.06	0.11	0.01	0.02		5.11
10—15	8	24	3.32	0.66	0.27				0.40	0.08	0.08	0.03	0.03		4.86
00—15	13	65	1.14	0.30	0.01				0.07	0.02	0.05	0.02	0.03		1.65
00—16	13	78	3.11	0.97	0.06				0.20	0.05	0.13	0.04	0.05		4.55
10—16	3	20	5.38	1.40	0.20				0.25	0.06	0.22	0.04	0.04		7.59
11—16	2	10	2.21	2.40					0.19	0.06	0.40	0.09	0.02		5.39
00—17	7	45	3.41	1.17			0.01		0.23	0.06	0.26	0.04	0.04		5.23
10—17	1	4	2.51	0.15	0.22				0.02	0.05	0.12				3.27

漁場又は海区	操業船数	操業回数	まぐろ きはだ	まぐろ めばち	まぐろ びんなが	まぐろ くろまぐろ	まぐろ いんどまぐろ	まぐろ ごうしゅう	かじき くろかわ	かじき しろかわ	かじき まかじき	かじき めかじき	かじき かばしょう	計
00—18	4	16	1.01	0.35			0.01		0.10	0.03	0.07	0.01	0.01	1.59
南部印度洋漁場														
12—16	4	30	1.14	0.56	5.92		0.03		0.18	0.09	0.03	0.01	0.01	7.99
12—17	1	2	1.28	0.41	2.59				0.14	0.05			0.03	4.49
12—19	1	25	1.02	0.35	3.02				0.14	0.09	0.01	0.03		4.66

樹脂加工　各種まぐろ延繩用ロープ

特徴

① まぐろの喰い良い
② タール染不要
③ 他の追随を許さない耐久力と耐摩耗力

アサヒテックス株式会社

本社　東京都三鷹市下連雀四〇〇番地　電話武蔵野022-3)3978・7923番
出張所　神奈川県三浦市三崎町仲崎一六七番地　電話三浦　2957番

2. 鮪類の月別，漁場別体長組成表（1960年4月操業分）

（組成の数字は百分率で示す。漁場名は速報海区の分類参照。）

魚種	漁場	船数	50cm以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171cm以上	測定尾数
きはだ	中太1	10					0.2	0.2	0.4	1.6	7.7	39.1	18.8	20.2	4.4	7.5	506
	中太2	4					9.4	1.0	4.9	9.4	13.6	12.0	10.7	16.2	12.3	10.4	308
	中太3	1							5.0	48.8	22.5	12.5	6.3	5.0			80
	西太3	5					3.8	24.7	18.6	40.7	9.4	2.6	0.1				889
	東印	2								2.3	22.7	56.8	18.2				44
	ベンガル	1						16.0	9.3	20.0	24.0	25.3	4.0		1.3		75
	アラビア	1								16.4	41.4	28.6	12.9	0.7			140
	中印	1					0.5	0.5	28.0	67.2	2.1	1.1	0.5				189

魚種	漁場	船数	60cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181cm以上	測定尾数
めばち	中太1	11			0.4	9.2	3.0	1.1	3.4	4.8	15.8	12.3	14.1	18.7	17.1		1,806
	中太2	5					0.5	0.8	3.1	6.4	10.6	19.8	23.2	15.7	15.2	4.7	612
	中太3	1						10.8		18.9	16.2	10.8	16.2	10.8	10.8	5.4	37
	西太3	4		0.5	1.8	3.2	8.7	15.6	12.4	18.8	22.0	11.0	3.7	1.8	0.5		218
	ベンガル	2				3.0	35.8	23.1	14.2	11.9	6.7	2.2	0.7	2.2			134
	中印	1				13.2	13.2	10.5	13.2	5.3	42.1	2.6					38

魚種	漁場	船数	40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121cm以上	測定尾数
びんなが	中太1	6						6.1	12.3	20.2	12.3	49.1	114
	西太3	2						9.1	63.6	27.3			11

魚種	漁場	船数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	測定尾数
まぐろ	東印	2	1.0		1.0	19.2	51.7	22.2	3.4	1.0	0.5						203
いんどま																	

魚種	漁場	船数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	測定尾数
くろかわ	中太1	12		0.7	1.4	3.1	6.1	4.4	4.8	10.9	13.0	11.9	13.7	16.4	6.5	7.2	293
	中太2	5		3.6	6.2	16.9	38.5	12.8	7.2	4.6	3.1	1.5	0.5	2.1	1.5	1.5	195
	中太3	1			8.3	25.0	25.0	16.7	8.3	8.3			8.3				12
	西太3	4	5.1	10.2	23.9	16.2	20.3	8.1	3.6	2.5	4.1	3.0	0.5	1.5	1.0		197
	ベンガル	1					38.5	7.7	23.1	23.1	7.7						13
	アラビア	1				29.2	41.7	12.5		4.2		4.2	8.3				24

魚種	漁場	船数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	測定尾数
しろかわ	中太1	2			33.3	33.3					33.3						3
	中太2	1								50.0					50.0		2

魚種	漁場	船数	130m以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251m以上	測定尾数
しろかわ	西太3	2			27.8	22.2	5.6	5.6	5.6		11.1	16.7	5.6				18
	アラビア	1				8.3	25.0	16.7	16.7	16.7	16.7						12

魚種	漁場	船数	100m以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221m以上	測定尾数
まかじき	中太1	10		0.5	3.7	22.9	36.5	20.7	11.4	2.9	0.8	0.1	0.3	0.3			1,177
	中太2	2				19.7	57.4	16.4	4.9	1.6							61
	西太3	2	3.2	3.8	5.8	16.7	25.6	27.6	12.8	3.8	0.6						156

魚種	漁場	船数	80m以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201m以上	測定尾数
めかじき	中太1	11	0.7	0.2	0.4	2.2	2.6	1.3	3.1	1.5	3.5	4.0	5.3	9.9	8.4	56.8	454
	中太2	2				16.7					16.7		16.7		16.7	33.3	6
	西太3	1							12.2	19.5	31.7	24.4	2.4	4.9	4.9		41

——多年の技術と経験を生かす！——

営業種目　船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置・冷房装置
冷凍機械器具・防熱装置
船舶冷凍冷蔵

設計　製作　施工

協同低温工業株式會社

本　社　東京都千代田区神田佐久間町1—21（山伝ビル）
電話（291）6101～5（内線31～3）
（291）7506（直通）
札幌営業所　札幌市北五条西5丁目　電話　札幌（2）4895

マグロ漁況概況予報　（1961年4月）

神奈川県水産試験場　漁業指導科　遠洋漁業係

1.　東部太平洋第2漁場（5～20°N，150°W以東）

この漁場のメバチは全般的に不漁期に入り，漁獲は1.5屯位でしょう．

2.　東部太平洋第3漁場（5°N～10°S，150°W以東）

北緯5度から南緯5度までの海域ではキハダが好漁期に当りますが，漁獲はあまり高くなく，赤道の北側が2.7屯，南側が1.8屯位，メバチは，北緯5度から南緯5度までの海域は不良期で，赤道の北側が1.5屯，南側が2.8屯，南緯5度から7度までの海域は好漁期で，西経120度以西で4.2屯，以東で5.6屯位になるでしょう．

なお，西経120度から130度までの南緯5度以南の海域では，ビンナガが0.45屯，クロカワが0.7屯位漁獲される見込みです．

3.　東部太平洋第4漁場（10°～30°S，150°W以東）

この漁場のビンナガ及びクロカワは，共に南緯10度から15度までの海域の漁獲が高く，ビンナガが1.4屯，クロカワが0.7屯位，また，0.3屯のキハダ，及び0.8屯のメバチが混獲されるでしょう．

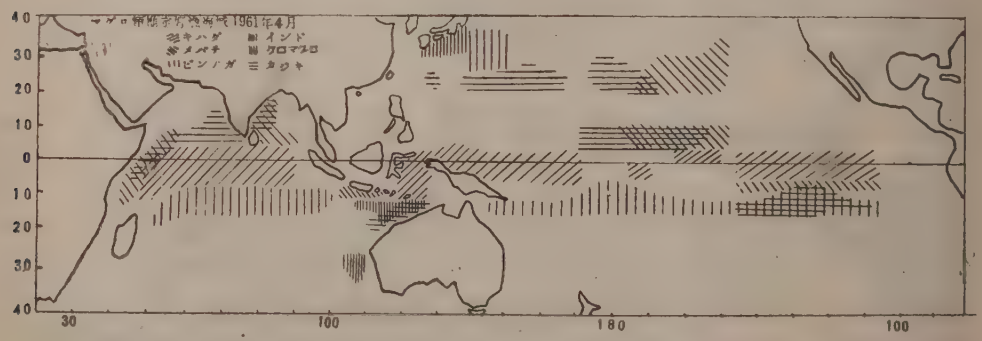
4.　中部太平洋第1漁場（20°N以北，170°E～150°W）

この漁場のメバチは，好漁末期で低下途上に当り，漁獲は3月より著しく低下し，ハワイ諸島北東海域が1.5屯，ハワイ諸島北西部周辺及びその北側の海域が1.2屯，その西側の西経175度までの海域が0.8屯位，また，ミッドウェー周辺及びその南側の海域ではマカジキが好漁期で，漁獲は0.4屯位になるでしょう．なお，マカジキの漁場は3月より稍西南方に移動する可能性があります．

5.　中部太平洋第2漁場（5°～20°N，170°E～150°W）

この漁場のメバチはなお好漁期ですが，漁獲は東よりに高く，パルミラ諸島北東海域が2.9屯，北西海域が2.4屯，マーシャル諸島より西経170度にかけての海域は1.0屯から1.5屯位の漁獲になるでしょう．

また，マーシャル諸島北東からパルミラ諸島北方にかけての海域では，クロカワの漁獲が高く，3月より更に上昇して0.3屯から0.35屯位になるでしょう．なお，東よりの海域は西よりの海域より若干低



く，0.25屯位でしょう．

6. 中部太平洋第3漁場（5°N～10°S，150°W以東）

北緯5度から南緯5度までの海域のキハダは好漁期に当りますが，漁場は部分的に密集し，フェニックス諸島及びカントン島北側海域と，クリスマス島周辺及びその西側の海域が特に漁獲が高く，漁獲は3.5屯位になるでしょう．なお，クリスマス島周辺漁場は毎年安定しておりますが，フェニックス諸島北側海域の漁場は年により多少移動することがあるので注意を要します．

なお，180度周辺の南緯5度以南では，ビンナガが0.45屯位漁獲される見込みですが，近年この漁場のビンナガの漁場はかなり北方に拡がっているので，赤道周辺においても0.3屯位の漁獲はあるかもしれません．

7. 中部太平洋第4漁場（10°～30°S，170°E～150°W）

南緯10度から22度までの海域のビンナガは好漁期に当りますが，南緯15度以南の海域は漁獲が極めて低く，南緯15度以北の海域が1.2屯，以南の海域が0.6屯位になるでしょう．

8. 西部太平洋第1漁場（20°N以北，170°E以西）

この漁場のビンナガは好漁期末期で，小笠原諸島北東海域に残存する程度で，北緯25度から35度の，東経140度から145度までの海域が0.15屯，東経145度から150度までの海域が0.45屯位の漁獲でしょう．

また，日本列島南海のクロマグロは好漁期に入りますが，昭和34年頃から上昇し始めた好漁年にも当り，0.7屯から1.2屯位の漁獲となるでしょう．マカジキは，北緯20度から25度までの東経140度から165度にかけての海域が好漁期で，漁獲は0.4屯位でしょう．なお，沖縄東南方海域にもマカジキ漁場が出現する見込みですが，昨年4月には出現していないので注意を要するでしょう．

9. 西部太平洋第2漁場（5°～20°N，170°E以西）

パラオ諸島からウォレアイ諸島にかけての海域では，キハダが好漁期に入りますが，今年は不漁年に当るので，漁獲は0.9屯位，また，この漁場のメバチはあまり著しい周年変化は認められないので，0.4屯位混獲されるでしょう．

10. 西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

北緯5度から南緯5度までの海域は，キハダが最盛期に入りますが，今年は不漁年に当るので，漁獲は全般的に低く，ハルマヘラ島周辺海域が0.9屯，パラオ諸島，ウォレアイ諸島南方海域で1.2屯，トラック島，ポナペ島南方からニューアイルランド島にかけての海域が0.9屯，また，ナウル島北西及び南西海域では若干高く1.5屯位でしょう．なお，この海域のキハダ漁場は，冷たい湧昇流の周辺に出現するので，測温による漁場発見の可能性があるでしょう．

また，メバチは0.25屯位混獲されるでしょう．

11. 西部太平洋第4漁場（10°～30°S，170°E以西）

南緯10度から15度にかけての海域では，ビンナガが3月にひき続き好漁期で，0.9屯位の漁獲でしょう．

12. スンダ列島周辺漁場（0°～10°S，100°～140°E）

バンダ，フロレス海のキハダは好漁期に入り，漁獲は1.5屯位になるでしょうが，チモール島周辺では1.8屯位に達するかもしれません．

また，ジャワ南方海域ではメバチが好漁期に入り，2.0屯位の漁獲，なお，キハダは0.6屯位混獲されるでしょう．

13. 東部印度洋漁場（10°S以南，100°E以東）

南緯10度から15度まで，東経105度から130度までの海域，及びオーストラリアのフレーム西方海域

のインドマグロは，好漁期末期で漁獲は著しく低下し，0.3屯程度，オーストラリアのジェラルトン，パース西方海域では，やはりインドマグロが好漁期末期ですが，漁獲は北部の海域よりかなり高く，南緯25度から30度，東経105度から110度の海域が3.5屯，その周辺の海域は1.4屯位でしょう．

また，オーストラリアのギンバリーランドから北西岬にかけての沖合漁場では，シロカワが好漁期で，南緯10度から15度までの海域が0.6屯，南緯15度から20度までの海域が0.4屯位，チモール島南側周辺では3月にひき続きキハダの漁獲が極めて高く，3.0屯位になるでしょう．

14. アラビア海漁場（5°N以北，80°E以西）

北部ソマリーランドの東方海域では，キハダが好漁期に入り，3月より更に高く2.5屯位の漁獲になるでしょう．

また，ラカディヴ諸島周辺のクロカワは，3月に引き続きなお好漁期で，漁獲は0.45屯，この漁場は4月に入って西方にのび，ソマリーランドの東方海域でも0.35屯位の漁獲がみられるでしょう．

15. ベンガル湾漁場（5°N，80°E以東）

この漁場のキハダは既に好漁期に当りますが，今年は昨年と同様なお漁獲が低く，回復の兆こうが見えませんので，漁獲は1.1屯程度でしょう．メバチは例年と変りなく，漁獲は1.5屯程度，また北西よりの海域では3月より北方に移動したマカジキが，1.3屯位漁獲されるでしょう．

16. 中部印度洋漁場（5°N～10°S，100°E以西）

キハダは全海域にわたって好漁期ですが，海域により漁獲にかなりの差がみられ，セイロン南方の赤道から南緯5度までの海域が2.4屯から2.8屯，マルディヴ諸島，チャゴス島からセーシェル諸島東方にかけての海域が4.5屯，セーシェル諸島西方海域が4.5屯位になり，その周辺海域は2.4屯以下になる見込みですが，これら漁場の位置は年によりかなりの差がみられ，今年は，セーシェル諸島西方漁場以外の漁場は，赤道以北に偏する可能性が大きいでしょう．

なお，ソマリランド沖合では，メバチが2.0屯位，他海域でも0.6屯から0.7屯位のメバチが混獲されるでしょう．また，セーシェル諸島北西の，赤道から北緯5度までの海域では，アラビア海漁場と同様，クロカワが0.35屯位混獲されるでしょう．

17. 南部印度洋漁場（10°S以南，100°以西）

南緯10度から20度までの海域では，3月に引き続きビンナガが好漁期で，1.2屯位の漁獲があるでしょう．

製氷冷蔵・凍結餌料

三崎遠洋漁船製氷株式会社

取締役社長　四宮秀雄

三浦市三崎町向ヶ崎　電話（三浦）3356・3372

正式発足する
全国かつお・まぐろ研究協議会について

近時かつお・まぐろ漁業も国内的にも国際的にも数多くの難題を介在してきている．これらに対処するため，かねてより本会並びに全国水産試験船運営協議会が中心となって中央における全国的な研究機関の結成につき，当局並びに業界に強く要望していたが，ようやく政府及び業界が一体となって動き出し，やっと全国かつお・まぐろ研究協議会（仮称）結成の運びとなり近く創立総会が開かれようとしている．

全国かつおまぐろ研究協議会設立趣意書

近年におけるかつお，まぐろ漁業は，船型の大型化，設備の近代化漁場並びに市場の拡大等，諸般の面で著しい発展をとげております．

然しながら年々の漁況変動，とくに最近の累年におよぶびんなが漁況の不振，をつお類の需要の停滞と価格の低迷さらにはその生産に関する諸条件等から，かつお・まぐろ竿釣漁船は極度の窮境に陥っており，又，中小型まぐろ漁船はその操業海域の漁場価値の低下と漁場展開の限界，漁獲物の価格の不安定等に悩まされて苦しい経営に喘いでおります．

さらに大型まぐろ漁船においても，その将来の見透しが極めて不安な各種の問題に当面しております．

このように漁業の内部においては依然として多くの解決を要する問題点或は発展の阻害要因等が蔵されていて，必ずしもその外形的な発展の様相とは撰を一にしていないのみならず，むしろいよいよその問題性を深刻化している面すら多い実情であります．

わが国漁業の基幹の一つとなっているかつお・まぐろ漁業が，このような実状にあることは，わが国の水産業全体の健全な発展を期する上にも極めて注視されなければならない問題であります．

他方，急速に推進されている貿易為替の自由化によって日本の経済全般が大きな転換期を迎えている中にあって，かつお・まぐろ漁業もより一層厳しい試練にさらされることが予想され，又最近の諸外国におけるまぐろ漁業の進出は軽視できない趨勢を示しているので，これらに対する国際競争力の涵養はいよいよ重要な課題となっております．

従って，かつお・まぐろ漁業の内蔵する各種の問題に対しては，従来政府及び当該漁業団体等においてとられて来た政策的並びに経済的な対策をより積極的に推進する必要があることは勿論，この際さらに科学，技術的な基盤の上に立った対策を樹立することが必要な段階に立到っております．

このためには，広く各種調査研究機関，教育機関等と業界が相互に緊密に連繋し，官民協力してかつお・まぐろ漁業に関する科学の振興，技術の改善，調査研究の充実等を図る必要が更めて痛感される次第であります．

よって，ここに関係各方面の御協力を願い，「全国かつお・まぐろ研究協議会」を結成し，上記の趣旨に基き各種の問題について協議するほか，定期的に大会を開催し，各種試験，研究の発表，意見の開陳，科学技術上の功績に対する表彰等を行ない，もってかつお・まぐろ漁業の真の発展と安定に資することと致したいと存じます．

ついては，かつお・まぐろ漁業の一大発展のため，この趣意書の意図するところをおくみとりの上，別添要領に基き本協議会の会員として是非とも貴会の御協力を得たく，ここに御案内申し上げる次第であります．　　以　上

昭和36年３月31日

全国かつお・まぐろ研究協議会（仮称）
結成発起人

水産庁長官	西村健次郎
大日本水産会々長	高碕達之助
日本鰹鮪漁業協同組合連合会長 日本鰹鮪漁業者協会長	浜地文平
結成準備会代表	浜地文平
協賛	科学技術庁
	文部省

全国かつおまぐろ研究協議会要領

（目　的）

1. この協議会は，かつお・まぐろ漁業に関連を有する官公庁，調査研究機関及び教育機関並びにかつお・まぐろ漁業団体，関連団体及び関連産業等が緊密に連繋し，官民協力してかつお・まぐろ漁業に関する科学の振興，技術の改善，調査研究の充実等を図り，もってわが国かつお・まぐろ漁業の健全な発展に資することを目的とする．

（事　業）

2. この協議会は次に掲げる事業を行なう．

イ）かつお・まぐろ漁業に関する漁業調査研究，漁業科学技術及び水産加工利用等についての研究協議会の開催．

ロ）会員及びその他の希望者によるこの協議会の目的に則った意見の開陳，調査研究の発表及び表彰等を行なうための定期大会の開催．

ハ）会員による新製品，各種の考案及び調査研究等の紹介，助成又は補助並びにこれに関連した情報，資料の蒐集，提供その他関連産業との提携を緊密にしその効果的発展を期する等，この協議会の目的を達成するために必要な事業．

（会　員）

3. 会員はかつお・まぐろ漁業に関連を有する地方自治体，調査研究機関，教育機関，かつお・まぐろ漁業団体並びに関連産業等であってこの協議会の趣旨に賛同した者とする．

（役職員）

4. この協議会はその運営の円滑を期するため会長（若しくは議長），理事，監事，その他の役員及び職員を置くことができる．

（総　会）

5. 総会は毎年1回定期的に開催する．ただしとくに必要な場合は臨時に開催することができる．

（研究協議会）

6. 研究協議会は部門毎に原則として年2回開催する．但しとくに必要な場合はこの限りでない．

2）研究協議会に漁業調査研究部門，漁業科学技術部門，水産加工部門，その他所要の部門を設け，予め各部門毎の関係会員を定めておくことができる．

（大　会）

7. 大会は毎年1回原則として定期的に開催する．

（会　計）

8. この協議会の経費は次による会費並びに寄付金又は補助金によって賄う．

1　会員当り年額　1口（10,000円）以上

2）地方自治体であって特別の事情ある場合は会費を免除することができる．　以上

東京都千代田区平河町2の1鰹鮪会館内
全国かつお・まぐろ研究協議会（仮称）
結成準備会事務所

◀鮪漁業関連会社誌上訪問▶ ③

＝ディーゼル機関＝

株式会社　赤阪鉄工所

本　社　東京都中央区銀座1ノ3（千成屋ビル）
工　場　静岡県焼津市中港町594
出張所　札幌・大阪・福岡

日本有数の発動機工場である赤阪鉄工所は，漁船発動機製造に一貫し，常に斯界の先頭にたつて，漁船機関を常に新しい方向にむけていたとも言えるのである。今月はその赤阪工場にスポットをあててみた。

社　長　赤阪正治

静岡県の焼津を訪れると，大きな漁港とほど近い株式会社赤阪鉄工所の建物が，いかにも遠洋漁業の大基地を思わせ，折から5月の空に舞い泳ぐ鯉のぼりも一入に印象づけられた．

鮪漁業関連会社訪問を赤阪ディーゼルにむけて焼津の工場をたずねると，ちょうど三重の出張から帰ったばかりという営業課長高橋一郎氏は，「まず工場を見て下さい」と第1工作工場から順々に案内して下さった．約1時間半すみずみまで見せていただいて，さらに高橋課長は昨秋高松宮ご夫妻にご覧いただいたという赤阪記念館に招じてくれ，筆者の質問にこたえてくれた．

昭和34年に創業50周年を記念する

株式会社赤阪鉄工所は，明治43年5月に先代の赤阪音七氏が，焼津で発動機の修理工場を創立した．明治末期は漁船に発動機が用いはじめられユニオン型・ダン式・グリフォン型や吸入ガス機関までが登場したが，これらが必ずしもよい結果ではなかったようで，そのなかに池貝鉄工所のスタンダード型と称した焼玉機関は，明治41年伊豆下田の神社丸にはじめて用いられ，これが国産焼玉機関の第1号としてすばらしい成績をあげたので，一挙に嘖々たる名声を博したことは，発動機史に有名なことで，この機関の製造に当ったのが先代の赤阪氏であったことも，赤阪鉄工所が漁船発動機に一貫し，今日日本一の漁船発動機工場である所以も，決してゆえなしとしない．

昭和34年11月には創業50周年を記念する数々の行事があったが，そのうち「赤阪鉄工所50年史」の刊行と，2階建50坪の「赤阪記念館」とは，やがて100年への大きな素地をつくったばかりでなく，わが国の発動機史上に輝く1ページをつくりだすにちがいない．

昭和35年に50万馬力の道標をあげる

赤阪音七氏がはじめて注水式焼玉機関6馬力を製造し，いまは焼津市となった和田村の橋ヶ谷房吉氏の大正丸に据え付けたという第1番機から，注水式・無水式・ディーゼル機関とそれぞれに変遷はあるが，数えて3,357台目の800馬力機関は500,208馬力に達したので，昭和35年6月4日本機の試運転に先立って，この機関の船主である茨城県那珂湊の笹島孫次郎氏を招じ

営業課長　高橋一郎

て50万馬力達成の記念を行なっている.

高橋さんが，皆さんのお蔭ですと言う数字を表にして見よう.

	製造の期間	製造台数	製造馬力計
注水式焼玉機関	大正4年—昭和12年	1,029	11,477
無水式重油発動機	大正14年—昭和15年	603	15,946
ディーゼル機関	昭和8年より	1,725	472,785
計	昭和35年6月4日現在	3,357	500,208

まぐろ漁船での大飛躍

赤阪鉄工所のディーゼル機関は，昭和9年から漁船に用いられ，豊富な経験を積んでいる．戦前の25型，自己反転式の300馬力はいずれも日本漁船のディーゼル化に，当時新潟・池貝につぐ生産量をあげ，重要な地歩をもっていた，また戦時中どこの工場も軍需で民間のものが造れなかったとき，最後まで漁船の機関を製造していたのが赤阪鉄工所だけであったことは，当時水産当局に感謝されていたと聞くが，こうしたことなどいかにこの会社が，漁船に深い関心をもっていたかがうかがえる.

終戦後はいち早く漁船機関の製造に着手した．それには戦後のあらゆる困難を克服し，生産体勢を整備するとともに，物理・化学の材料試験施設を完備して，使用する材料を厳選した．工場は集中合理化を計画して，工作機械をそれからそれと更新し，品質管理を行なうなど同業他社に先んじて発動機工場の近代化に努力してきた.

戦争末期に製造した海軍制式中速型400馬力機関を漁船に転用の可否が云々されていたころ，一部には漁船機関が中速化するという見方もされて，これは大きな課題であった．このとき赤阪社長はちゅうちょなく，昭和21年日本鋼管清水造船所で，150トン型かつお・まぐろ漁船第2・第3万栄丸を建造し，これに中速400馬力を製造して据え付け，焼津の万亀丸・豊国丸の人たちに操業させ，つぶさに中速400馬力機関の実状を調べたのであった.

この結果漁船には漁船にむく低速機関でなければとの結論で，直ちに新設計をしたのがＫＳ型の320馬力機関であった.

ＫＳ型は当時非常な好評を得たばかりでなく，さらにＴＳ型430馬力，ＴＺ型500馬力と大型船に飛躍したころ，マッカーサーライン撤廃によって，待望のまぐろ漁業が太平洋せましとばかりに展開され，まぐろ専用船が300トン級の出現となった．むろん主機にはＹＭ型650馬力の新設計をもってして，以後船型が進むにつれて，ＹＳ型750馬力・ＵＺ型850馬力と，昭和26年から28年にかけては，大半の主機および補機に赤阪鉄工所製の機関が用いられていたことは周知の事実で，まぐろ漁船における赤阪鉄工所の大飛躍はまことに輝かしいものであった.

赤阪ディーゼルの概要

赤阪鉄工所全景

高橋さんは型録を示しながら，製造の機種を見て下さいと言う．なるほど船用・発電用とたいへんな数である．

戦後は各社とも製造機種が増加した．それは漁船の建造に従来の画一的なものから脱し，それぞれ目的に対して趣を変えた結果でもあって，発動機の機種の増加はこうした自然のすう勢でもあった，むろん赤阪式ディーゼル機関は，いつもこの先頭にたっていたばかりでなく，漁船機関を常に新しい方向にむけたとも言えるほどに，豊富な機種をもち，すこぶる多い実績をあげている．こころみに型録からひろって見ると，

船用で歯車逆転装置の機関には
3シリンダ　90馬力から
6シリンダ　450馬力まで
MR・KA・MS・US・MRの型式で
20機種
船用の自己反転型の機関には
6シリンダ　330馬力から
8シリンダ　2,400馬力まで
KS・MK・SR・YM・YS・UZ
YZ・KDの型式で　18機種
発電用の機関には
3シリンダ　75馬力から
6シリンダ　1,150馬力まで
KC・SH・KF・KE・KS・MK
RE・SR・YMの型式で　34種

等の機関がある．むろん過給機付・中間冷却器を用いられるものもあって，顧客の要望に極力添うよう十分配慮されている．

最近は月の生産馬力数が8,000馬力をこえているが，工場は敷地1万余坪，建物5,250坪投下資本3億，稼動工作機280台，従業員の総数は800名という．これが社長のもとに総務・経理・業務・製造・技術の5部に13課を配した職制で，実によく運営されている．

東京本社・大阪・札幌・福岡の出張所と，焼津に営業所があるので，営業会議は毎月焼津で行なわれ，受注と製造計画の調整を確実にして，大小いずれの機械も納期を遅れて，顧客に迷惑をかけるようなことはない．

赤阪鉄工所には，材料・部品等の外注工場を一丸として赤阪鉄工協力会がある．この会は実に100社を数える有力なメンバーで，赤阪鉄工所と密接不可分の関係をもち，赤阪ディーゼルの生産性向上に一翼をになっている．

アカサカ・ミカローム

製造した発動機がいつまでも満足に使用されるのには，常に良好な性能を保つようでなければならない．これにはシリンダ内面のまもうが大きく影響するもので，従来シリンダ内面は1,000時間に0.1ミリメートルのまもうが常識とされていて，凡そ15,000時間も使用すると，内面の再削を要していた．

赤阪ディーゼルのシリンダは，この点たいそう評判のよいものであったが，赤阪鉄工所ではシリンダ内面をクロムメッキすることによって，すぐれた結果を実船で立証できたので，これを全機種に実施するため，クロムメッキの専門工場である勝川ミカローム工業株式会社と技術提携をして，メッキ工場を建設し，昭和33年よりこれを行なっているので，高橋営業課長さんは「ボーリングは10年間全く考えなくてよいのです．20年ボーリングしないという船もいまにでてきますよ．」と確信をもって話された．

三菱長崎造船所と技術提携して ニサイクルUE型機関の製造

昭和28年にUZ型850馬力機関を完成した赤阪鉄工所では，つぎには二サイクル式へと進むものと考え，実験機を計画したという．ところがこの結論を得ないうちに，漁船や商船から大型機関を受注したので，軽量高出力を目指した四サイクルディーゼルの高過給によって，KD型8シリンダ2,400馬力にまで進んだのであった．

一方過給方法は二サイクル式にも顕著な進歩を示して，すこぶる高い性能を得られるようになり大手筋造船所がすでに国際的に定評のあるズルッアー・マンあるいはバーマイスター等の製作権を得て，5,000～10,000馬力級の大型機関はもちろんのこと，勢の赴くところ中型貨物船向けの3,000馬力以下の機関をも受注し，盛んに製造された．このなかで三菱長崎造船所のみは，純国産

のMS型機関を製造していて，この優秀な技術陣がさらにうんちくを傾けて，昭和30年に完成したUE型機関が世界的な名声を博している．

このような情勢から国内では3,000馬力以下を対象として，二サイクル式と四サイクル式との是非論が，漁船機関をはじめ中型貨物船の主機にまで発展して，興味ある問題とされてきた．

赤阪鉄工所は，2,400馬力までの実績は確固としているので，四サイクル式の見込みは疑う余地のない明白な事実であるけれども，これ以上の機関は二サイクル式に移行することが，さらに大きい進展をする要素と考えられるに至った，

そこで赤阪鉄工所は，三菱長崎造船所の好意を得て，同社よりUE型機関の製造権を赤阪鉄工所に与えられる調印が，昭和35年12月28日，三菱本社において行なわれた．よって赤阪鉄工所では

UET	33/55	1,500～2,250馬力
UET	39/65	2,000～3,000馬力
UET	45/75	2,700～4,500馬力
UEC	52/105	3,800～5,700馬力

の17機種の製造に着手し，本年9月にはUET型の第1番機6シリンダ1,500馬力が試運転されるように着手されている．やがてまぐろ漁船にも，二サイクルが遠からず用いられるであろう．

大工場建設の計画

赤阪鉄工所では，UE型機関を製造することは発動機製造の本筋であることはいうまでもないので，従来の四サイクル機関はむろん現在以上の伸展を期し，そのうえ二サイクル機関を大いに製造することを大方針とした．

それには現有の施設は四サイクル機関の製造部門とし，二サイクル機関の製造に新工場建設を画し，市内豊田地区に3万坪の土地を得，巾40メートル長さ100メートルの工場2棟と長さを200メートルとする組立・運転の工場が，明年7月完成操業を目標にして，目下建設の途上にある．これが完成すれば中型ディーゼル機関の工場として，天下にその偉容を誇るものであろう．一日も早くこの完成を祈念して，失礼しようとしているところに社長赤阪正治氏が見えた．

「私共の任務は，新しい技術を実用化し，それが社会に，ひいては全人類の幸福増進に寄与すべきものではありますまいか．

過去の経験を十分に生かして，より高度の性能と精度，そしてより低廉なものへの生産に精進させていただくのみです．」

と明朗な温顔で語ってくれた．

漁船の発達に表裏一体をもってのびた工場赤阪鉄工所が，今は全くディーゼル専門の工場となり世界に向って，大発展の礎をうちかためられている現状は壮観である．

赤阪社長は1959年4月，ローマに開かれた世界漁船会議で，日魯漁業の第35黒潮丸に赤阪のKD18,00馬力に遠隔操作を実施した結果を発表され，大いに世界の関心を集められたことは周知のこと．

本年5月には専務取締役赤阪行雄氏と技術部長鈴木正身氏が欧米視察に出かけるというが，赤阪社長の欧米視察とともに，赤阪鉄工所の近代化は世界的水準に上って行くことは疑う余地もない．

綠星社のSV60型・61型ラジオブイ

用途；鮪延縄・鮭鱒流網・捕鯨・底曳トロール
漁具流失防止　位置確認　操業時間短縮　等々

株式会社 綠星社

代表取締役　吉田内次

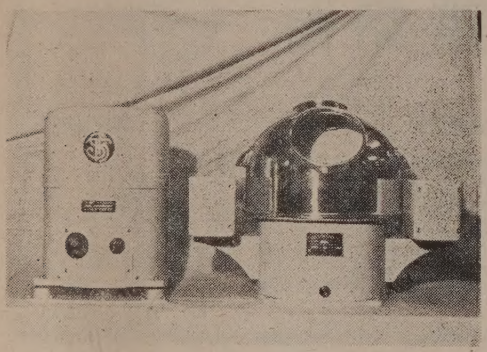
営業所　東京都中央区小田原町2の15　電話(541)代1505～6，1797～8
研究所　東京都中央区築地5の1（東京中央卸売市場内）
電話（541）2371
函館出張所　函館市根崎町140番地　電話函館(2)5825

＝新製品紹介＝

超小型

東京計器ES型ジャイロコンパスについて

超小型，軽量，取扱い容易，振動ショックに強い



ES型ジャイロコンパス　　SM型磁気コンパス

概要　従来大型船舶に対しては商船漁船共に殆んどと云ってよい位にジャイロコンパスが採用され，その優れた性能により多大の利益をあげていることは衆知のことである．それで前々から小型漁船に於てもその使用が望まれておりましたが，現在迄のジャイロコンパスが何れも大型に過ぎ，装備スペースの上で不向であり，又価格も高価であったため等のことから，小型漁船に対してのジャイロコンパスの使用は今日まで実現出来なかったのである．

東京計器ではこの一般の要望に応えて，永年の経験に基き予て試作研究を続けていたが，今回遂に完成し北洋鮭鱒漁船等の 100 屯前後の小型漁船用としてES—1型ジャイロコンパス及び中・小型船鰹鮪漁船用としてレピーター付属のES—2型ジャイロコンパスを発売する段階になったのである．

ES型ジャイロコンパスは東京計器独自の設計になる全く新しい超小型軽量のジャイロコンパスで中・小型漁船用として最適のものであると同社が自信を以って推薦することの出来る製品で，従って以下説明の通り装備，取扱い容易で性能についても一般の要望に充分に応えられるものである．

構成　ES型ジャイロコンパスの構成は次の通りである．

ES—2型	数量	重量(約kg)
1. マスタコンパス	1	25
2. 増巾器	1	8
3. 電動発電機	1	65
4. モータスタータ	1	8
5. 発針器箱	1	
6. 分電箱	1	7.5

ES—1型		
1. マスタコンパス	1	25
2. 増巾器	1	8
3. 電動発電機	1	45
4. モータスタータ	1	8.5

以上の構成であるが，ES—2型ではこの他にレピータは4回路とれる様に設計されている．

レピータ保持器は天測用・位置測定用・壁掛型等がある．又方探・レーダーに組込み真方位の伝達も可能になっている．更に G.C.P. のレピータもあるので G.C.P. による自動操舵も可能である．

＝消 息 欄＝

新　会　員（昭和36年4月～5月）

番号	氏　名（名称）	住　所（所　属）	摘　要
949	国立国会図書館支部 農林省図書館	東京都千代田区霞ケ関2の1	
950	川上貿易株式会社食品部	東京都千代田区内幸町2の22飯野ビル	
951	沖縄水産株式会社	沖縄那覇市西本町3の5	
952	永　盛　丸	報国水産株式会社	
953	永　芳　丸	〃	
954	秋山鋭治郎	三崎船長航海士協会気付	那智丸船長
955	城田得位	沖縄那覇市高橋町泊北岸琉球水産研究所漁労部	
956	島津直行	大洋漁業株式会社三崎営業所	社　員
957	横浜冷凍株式会社	横浜市神奈川区山内町1	

―― お　願　い ――

◎ 大変恐縮ながら昭和35年分36年分会費（1ヵ年分1,700円郵送料200円を含む）未納の方は本会宛至急払込送金方（振替貯金口座横浜1472）お願い致します。尚整理の都合もあり会費切れの向には一時会誌の送本を中止することもありますからお含み願いあげます。

◎ 本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先（届け先）を記入の上年間会費1,500円（郵送希望の方は他に郵送料200円）を添えて本会宛お申込下さい。

◎ 本誌に広告掲載希望の方は本会迄お申込下さい。

◎ 会員各位の鮪漁業についての調査研究或は体験、漁具漁法の改良、遭難防止等についての投稿其の他写真をお願い致します。

鮪　漁　業

1961年5月号

昭和36年5月10日印刷
昭和36年5月10日発行
監　修　神奈川県水産試験場
編集兼発行人　菅野　進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発行所　鮪漁業研究会
（振替貯金口座 横浜1472）

▷ 最高の技術……永い信用 ▷

営業種目
高級無線通信機　ラジオヒーター
船舶用無線機　放送施設一式
高級無線用測定器　極超短波通信機
超短波通信機　ビーコン装置
VHF新聞通信社用

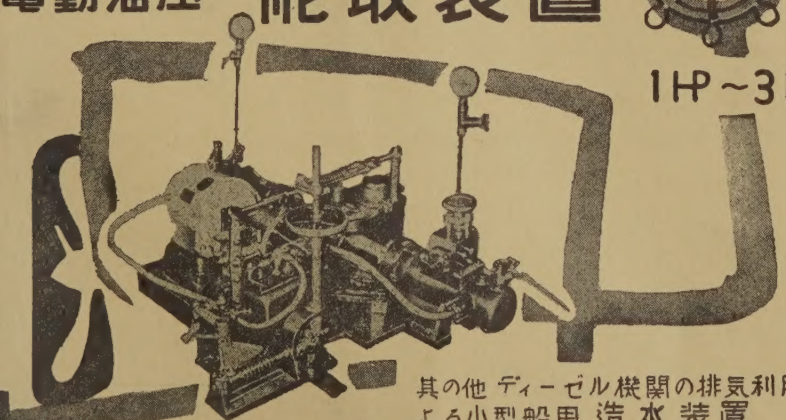
国際電気株式会社

取締役社長　山下知二郎

本　社　東京都港区芝西久保桜川町9番地　電話 東京 (591) 7871 (代)
狛江工場　東京都北多摩郡狛江町和泉150番地　電話 東京 (416) 0171 (代)
大阪出張所　大阪市北区堂島上1の2 (新山本ビル)　電話 大阪 (312) 4431 (代)
福岡出張所　福岡市福岡呉服町36番地(赤坂門ビル)　電話 福岡 (4) 8198

川崎ヘルショウ式
電動油圧 舵取装置

1HP~3HP



其の他ディーゼル機関の排気利用による小型船用造水装置

川崎重工業株式會社

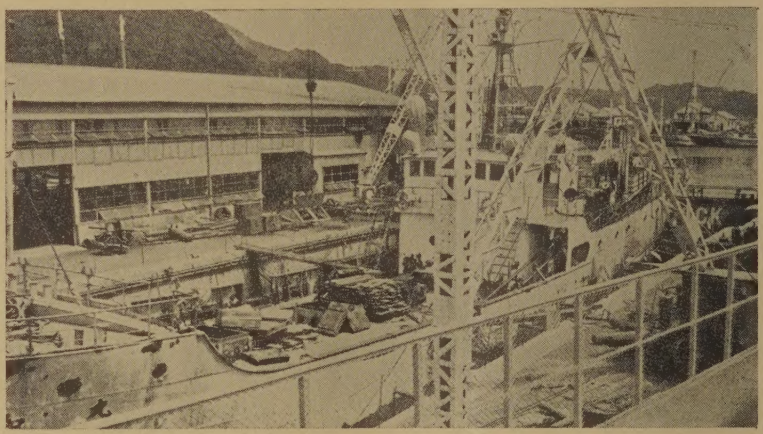
神戸市生田区東川崎町二丁目一四(電)湊川(5)7531
東京支店　東京都港区芝田村町一丁目(日比谷ビル)(電)(59)6101
(本紙名記入の上御一報下さればカタログ御送附致します)

鮪漁業　第七十八号　昭和三十六年五月十日発行
昭和三十一年二月二十三日　第三種郵便物認可　（毎月一回十日発行）

漁船の建造、修理の御相談は

ドライドック	大きさ	長さ	幅	深さ
		59.15米	14.0米	6.6米
	入渠可能船舶	長さ(垂線間)	幅(型)	吃水(平均汐高線1.7米に於て)	総屯数
		57.0米	11.0米	4.41米	800屯

船台兼船架	建造又は上架可能船舶	構造	長さ	総屯数	数量
		4条軌条算盤式	50米	500屯	2
		2条軌条式	50米	250屯	2



下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社事務所 電話下田 1001(代表)～3番　本社現場事務所 電話下田1005(代表)～6番
武ヶ浜工場 電話下田 1008(代表)～9番
東京事務所　東京都中央区銀座東4―4 畜産会館1階　電話東京(541)9270(直通),4121(代表)～8番

紫綬褒章に輝やく
泉井式ラインホーラー

株式會社　泉井鉄工所
高知県室戸町